

駐車場のご案内

- 入院期間中、ご自分の車を病院構内に駐車しておくことはできません。入院時には他の方法でご来院ください。
- 付き添いや面会などでご来院の方は、**西駐車場**をご利用ください。
- ゲート式の駐車場は有料です。外来診察、検査の方に無料券と交換させていただきます。

	収容台数	利用時間	利用料金
北駐車場	104台	24時間	60分以内無料 以後30分ごとに100円 診察・検査の方は無料
南駐車場	160台		
身障者駐車場	23台(屋根付き9台)		
西駐車場	198台		無料



お車でお越しの方へ

中央自動車道 飯田I.Cより
飯田市立病院信号を左折
車で約7分(≒3.5km)

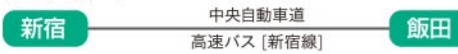
JRでお越しの方へ

JR飯田線 飯田駅(飯田市内)より車で約10分
路線バス「飯田駅前」乗車、もしくはタクシーを
ご利用ください。

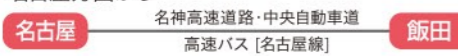
JR飯田線 伊那八幡駅より徒歩約16分(≒1km)

高速バスでお越しの方へ

東京方面から



名古屋方面から



飯田駅前(飯田市街)より車で約10分
路線バス「飯田駅前」乗車、もしくはタクシーを
ご利用ください。

伊賀良停留所(飯田I.C近く)より車で約10分
路線バス駒場線「伊賀良」乗車、もしくはタクシーを
ご利用ください。



バス関連のご案内

飯田市 [市民バス]

- 駒場線(市立病院経由)
- 阿島線
- 遠山郷線
- 大島線
- 氏乗線

広域バス・その他

- 飯田→氏乗線
- 飯田→喬木大島線
- 市田線(市立病院経由)
- 遠山郷線

市立病院
バス
停下車



〒395-8502 長野県飯田市八幡町438番地 TEL.0265-21-1255(代表) FAX.0265-21-1260(医事課)

WEB <https://www.imh.jp/> MAIL info@imh.jp

入院のご案内



IIDA MUNICIPAL HOSPITAL





飯田市立病院基本理念

基本理念

私たちは、地域の皆さんの健康を支え信頼される医療を実践します

基本方針

- 1 私たちは、安全・安心で良質な医療を提供します
- 2 私たちは、患者さん中心の医療を実践します
- 3 私たちは、地域の保健、医療、介護、福祉機関と密接に連携します
- 4 私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上とともに、職員が誇りややりがいの持てる職場をつくります
- 5 私たちは、公立病院として、よりよい医療を提供し続けるために、健全な経営に努めます

理念行動指針

私たちは、誠意 熱意 創意 をもって医療を実践します

飯田市立病院「患者の権利と責任」

飯田市立病院は、患者さんの権利と意思を尊重し、信頼される良い医療を行うために、患者さんの権利と守っていただきたい責務を定めます。

1. 良質の医療を受ける権利

適切で良質で最善の医療を公平に継続して受ける権利があります。また、必要な時にはいつでも、医療従事者の援助・助力を求める権利があります。

2. 選択の自由の権利

病院や医師を自由に選択し、または変更する権利があります。

3. 情報を知る権利

治療や症状について真実を知り、担当医師や受け持ち看護師より納得ができるまで十分に説明を受ける権利があります。その説明に対して納得がいかない場合、担当医師以外の医師に意見を聞く権利があります。

4. 自己決定の権利

十分な説明を受け、治療方法を自らの自由意思で選択し、治療を受ける権利と治療を受けることを拒否する権利があります。

5. 機密保持をえる権利

診療や治療で医師や従事者が知りえた全ての患者情報、全てのプライバシーの機密保持をえる権利があります。患者さん本人の承諾なくして、第三者に開示されない権利があります。

6. 尊重される権利

自ら病を克服しようとする主体として、医療の場において常にその生命・身体・人格が尊重される権利があります。人間的な終末期ケアを受ける権利を有し、できる限り尊厳を保ち、安楽に終末期を迎えるためのあらゆる可能な助力を受ける権利があります。

7. 情報を提供する責務

医師をはじめとする医療提供者に対して、自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供する責務があります。

8. 医療に協力する責務

全ての患者さんが等しく上記の権利を行使するためにも、病院の規則を守り、提供される医療に協力して、できるだけ健康的な生活習慣を身につける責任があります。

また、他の患者さんの治療に支障を与えないように配慮する責務があります。

個人情報の取扱いについて／当院は、個人情報に関して管理責任者を配置し、適切かつ安全管理を行っています。患者さんの個人情報は、当院がご提供する役務の充実及び適切なご案内を目的とする以外での利用はしておりません。また、特段の事情がない限り患者さんの承諾なく、第三者に開示、貸与及び譲渡はいたしません。



目次

安全な医療を受けていただくために—— 2～3

当院の機能・役割—— 4

入院決定から入院当日まで—— 5～7

入院中の生活について—— 8～9

入院費のお支払について—— 10

受付のご案内—— 11

病院内フロアガイド図—— 12～13

※駐車場のご案内・アクセスマップ等は、裏表紙をご覧ください。

当院では、症状が重い時期の治療を行う急性期病院として救急医療をはじめ、手術・化学療法・放射線療法によるがん治療や紹介状による専門的な治療を行っています。当院での治療が終了または症状が安定しましたら、自宅への退院、リハビリテーションによる治療を積極的に行っている医療機関への転院、または、自宅へ戻る前の準備としての回復期病院等への転院をお願いしています。また、外来受診においても症状が安定している再来患者さんには、ご自宅から近い開業医（かかりつけ医）への受診をお願いしています。



安全な医療を受けていただくために

飯田市立病院では、患者の皆さんに安全・安心な入院生活を送っていただき、医療事故を防ぐために職員一同最大限の注意を払う努力をいたします。そのためには患者さんご自身やご家族にもご協力をお願いすることがあります。以下のご案内をお読みいただき、ご協力をお願いいたします。



1 医師、看護師からの説明について

- 病気、検査、治療などで分からないことがあれば、医師または看護師にお尋ねください。
- すぐに説明できることはその都度説明いたします。医師からまとまった説明を希望する時には看護師にお申し出ください。説明日時の予約をお取りします。
- 自身の病気や治療について他の病院を受診して意見を聞きたい場合（セカンドオピニオン）は、医師・看護師にご相談ください。そのことで不利益を受けることはありません。

2 氏名、検査内容の確認について

- さまざまな書類や伝票を渡された時、注射や検査が行われる時などは、ご自分の名前が書かれているか、実施されるのはどのような内容であるのかを、ご自身でも確認するようお願いいたします。

3 患者さん間違いを防ぐためのご案内

- 患者さん本人であることを確認するためにお名前をお聞きいたしますので、必ずフルネームでお答えください。
- 入院されましたら患者さん間違いを防ぐため、全員にリストバンドの装着をお願いいたします。
- 手術・検査・注射・処置を行う時には、リストバンドのバーコードを読み取り、本人確認をいたします。
- リストバンドの装着により皮膚に異常を感じた場合は、医師または看護師にお知らせください。
- リストバンドは退院まで外さないでください。

4 お薬の申告と持参のお願い

- 病気の状態や手術のために一時お薬の服用を中止することがあります。またお薬によっては病気に影響することがあります。このため当院から処方されている薬、他の医療機関で処方されている薬、薬局などで購入された薬、サプリメントや健康食品などがあれば入院時にもれなくお知らせください。
- 服用中のお薬は入院中も継続して服用していただくことがありますので、入院の際には必ずお持ちください。
- 『お薬手帳』や『お薬の説明書』がありましたら一緒にお持ちください。
- お薬の飲み方について普段から注意を受けていることがありましたらお伝えください。

5 アレルギー、副作用の申告のお願い

- 食べ物でアレルギーを起こしたことがある、薬の副作用（発疹やかゆみ、吐き気など）が出たことがある、検査時の造影剤などで顔のほてり・めまい・吐き気・かゆみなどの症状が出たことがある、などの経験がある場合は必ず申告してください。
- アレルギー体質のご家族がいる場合もお知らせください。
- アレルギーの情報をもとに、食事や薬の提供に細心の注意を払います。患者さん、ご家族も配膳された食事や処方されたお薬についてご確認ください。

6 転倒・転落、危険行動防止にご協力ください

- 病気やケガによる体力や運動機能の低下で、思わぬ転倒やベッドからの転落などにより、骨折など重大なケガをおこす危険があります。特に高齢の患者さんは入院という環境の変化や病気自体の影響で自分がどこにいるのか、どうして病院にいるのか分からなくなり、歩けないのに歩こうとする・点滴を抜いてしまう・尿の管を抜いてしまうなど危険な行動を取ることがあります。
- 入院時には履き慣れた靴やいつも使っている杖・メガネなどをお持ちください。
- 転倒・転落の危険が予測される場合には、体動センサー、ベッド柵などの危険防止策を行います。あらかじめご家族にご了承いただきますので、よろしくお祈りいたします。
- 必要時、認知症ケアチームにより、予防や治療を行います。
- ナイフ、ライターなどの危険物や、不要物の持込はご遠慮ください。

7 褥瘡（床ずれ）予防にご協力ください

- 病気やケガで寝たきりや栄養低下の状態になると、かかと・お尻・背中など骨が出っ張っている部分に褥瘡が出来やすくなります。
- 褥瘡予防のために定期的に身体の向きを変えたり、マットレスの種類を変更することがあります。
- 体がマットレスや装着器具に当たるなどで痛みが出たり、皮膚が赤くなったりした場合はすぐ看護師にご相談ください。
- 褥瘡の状態によっては担当医師・看護師の他に、褥瘡対策チームが予防や治療にあたります。

8 院内感染防止にご協力ください

- 病院には重症患者や抵抗力の低下した患者さんも多く入院しています。感染防止のため食事の前・トイレの後・病室への入室時には手の消毒をお願いします。
- マスク着用をお守りください。
- トイレ使用の際には便座の清潔のため便座クリーナーをお使いください。
- 入院前に水痘・麻疹・風しん・流行性耳下腺炎（おたふく）・インフルエンザ・流行性角結膜炎などの患者さんに接した可能性のある場合は、医師または看護師にお申し出ください。
- 予定入院の際に発熱など体調に異常がある場合は、各科外来にご連絡ください。
- 院内は全館換気システムにより換気されていますので窓の開閉により換気を行う必要はありません。

9 迷惑行為への対応について

- 患者さんの安全を守り、診療が円滑に行われるために、次のような迷惑行為を認めた場合には、診療及び施設利用を制限させていただくことがあります。
- 他の患者さんや職員に対し暴力、セクシャルハラスメント、もしくはその恐れが強い場合。
- 大声や暴言により、他の患者さんに迷惑を及ぼしたり、職員の業務を妨げたりした場合（解決が困難な要求を繰り返したり、病院業務を妨げたりした場合など）。
- 治療上必要な指示に従えない場合（無断外出や禁煙が守れない場合など）。
- 入院に必要な危険な物品を院内に持ち込むことや病院の建物・設備・機器等を故意に破壊した場合。
- 治療もしくは面会などの用事がなく病院の建物、敷地内に立ち入り、注意しても退去しない場合。

10 説明と同意について

- 医療行為の多くは身体に対する侵襲を伴います。侵襲が加わっても医療行為により身体が回復するというの方に利益があるため、その医療行為が許されています。しかし、医療は本質的に不確実なため、医療者側に過失が無くても重大な併発症や事故は起こり得ます。併発症などが起きれば、もちろん治療には最善を尽くしますが、重大な結果をもたらすこともあり得ます。
- 予想される併発症などについては十分な説明を行います。極めてまれなものや予想できないものもありすべてを言い尽くすことはできません。また、過失を伴わない併発症などが起きた場合の診療費は、通常と同様に患者さんの負担が発生します。
- 同意書には、以上のことを納得した上での署名をお願いします。少しでも疑問があるときは、納得できるまで質問してください。納得のできない場合には、必要な資料は提供しますので、他の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞くことをお勧めします。

11 医療安全に関する相談窓口

- 治療や検査、医療行為などについて不安や疑問に思うことがございましたら、主治医、受け持ち看護師にご相談ください。
- 医療安全に関する窓口として医療安全部があります。専門の職員がお話を伺いますので、遠慮なくご相談ください。

医療安全部：0265-21-1255（内線2360）
Mail: anzen@imh.jp



当院の機能・役割

当院は、救命救急センターにて24時間救急患者の受け入れをしています。また、地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携や役割分担を進めるため、入院医療を中心とした医療提供体制を敷いています。



急性期医療の役割のご理解とご協力について

当院は、急性疾患や慢性疾患の急性増悪などで、緊急・重篤な状態にある患者さんに対して入院・手術・検査など高度で専門的な医療を提供する急性期医療の役割を担っています。そのため、重症あるいは病状が不安定な患者さんを受け入れられるよう常に病床を確保しておく必要があります。このような理由から、病状が安定した患者さんにはなるべく早期に退院していただき、他の医療施設やご自宅で療養されることをお願いしております。

地域医療支援病院について

当院の役割である急性期医療はもちろん、小児医療や周産期医療、感染症対策にも積極的に取り組み、地域の機能を補完できる病院として、他の医療機関と連携しながら圏域内での医療の完結に努めています。

実習生の受け入れについて

当院では、医師、看護師、薬剤師など、医療スタッフを目指す実習生を積極的に受け入れ教育しています。

ご理解、ご協力をお願いいたします。

(※1) 三次医療とは…重篤な疾患や多発外傷に対する医療 (※2) 二次輪番体制とは…24時間体制で救急患者の受け入れができる病院が、日を決めて順番に患者の受け入れを行うこと

入院決定から入院当日まで

入院の手続き

- ①入院申込書(兼誓約書)は、連帯保証人欄等必要事項の記入の上、平日は総合案内に提出してください。休日(土・日・祝日)は、中央受付⑤お支払い窓口へ提出してください。
なお、やむを得ない理由で連帯保証人を選任できない場合は、入院係にご相談ください。
- ②入院当月に下記のものを提示されていない方は、入院時に総合案内にご提示ください。
 - 健康保険証
社会保険・国民健康保険・後期高齢者医療保険
 - 福祉医療費受給者証
福祉医療を受けている方
 - 公費負担受給者証
公費負担医療を受けている方
 - 各限度額認定証等
一部負担金等の減額認定を受けている方

- * 保険証の提示がない場合は、全額自費となりますのでご注意ください。
- * 入院中に、保険証等の記載事項が変更されたり退職等により保険証等が変わった場合は、速やかに入院係にご相談ください。ご相談のない場合、変更日以降は全額自費にさせていただきます場合もありますので特にご注意ください。
- * 傷病の原因が、交通事故・工作中(労災)・けんか等の場合はお申し出ください。
- * 入院申込書(兼誓約書)は、郵送でも受付しています。裏表紙記載の住所までお送りください。

- ③緊急で入院された場合は、できるだけ速やかに入院の手続きをしてください。
- ④入院中の種々の問題・疑問等が生じたときは、医療ソーシャルワーカー等がご相談に応じます。医師・看護師にお気軽にお申し出ください。
(例)
 - 育成・養育・更生・生活保護等の公費負担医療を受けられないか。
 - 労災の適用にならないか。
 - 病気のために家族や職場に問題が生じた。
 - 医療費の支払いに不安がある。
(高額医療費の申請について聞きたい)
 - 退院後の療養について不安がある。
 - その他、誰に相談してよいかわからない。
- ⑤ご都合により入院を取り消される方は、お早目にご連絡ください。

ご入院申込書(兼誓約書)の記載、健康保険証等の提示、医療費の支払い方法などに質問等がありましたら、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先
医事課入院係 0265-21-1255 (内線2441)



入院手続きと持ち物のご案内

入院の際は、平日は正面玄関の総合案内に、休日は警備員室にお寄りください。

ご提出いただく書類

提出場所	入院時に提出していただく書類
〈平日〉 総合案内 〈休日〉 中央5番窓口	<input type="checkbox"/> 入院予約確認票 (平日は総合案内・休日は警備室受付にご提示後に病棟へお持ちください) <input type="checkbox"/> 入院申込書 <input type="checkbox"/> 健康保険証(マイナンバーカードによるオンライン資格確認運用中) ※他の書類をお持ちの方 <input type="checkbox"/> 各種受給者証 (高齢受給者証・特定疾病療養受給者証・限度額適用認定証・福祉医療受給者証など)
病棟スタッフ ステーション	<input type="checkbox"/> 入院予約確認票 <input type="checkbox"/> 入院問診票 <input type="checkbox"/> 入院セット利用申込書 ※他の書類をお持ちの方 (<input type="checkbox"/> 生活のしやすさに関する質問票など)



「入院セット」について

入院中のお洗濯や日用品ご準備の負担軽減のために、病衣・タオル類がセットとなった、レンタルサービス「入院セット(有料)」があります。「入院セット」をご利用いただくと、セットに含まれる日用品を必要に応じて利用することができます。詳しくは、別途お渡しする専用リーフレットをご覧ください。

入院時の持ち物(ご自身でご用意いただくもの)

入院セット利用に関わらずご用意ください	必要に応じてご用意ください
<input type="checkbox"/> お薬手帳 <input type="checkbox"/> 内服している薬 <input type="checkbox"/> 使用している薬(軟膏・点眼薬・吸入薬・インスリン等) ※現在お使いの薬すべてを薬の袋に入れて持参してください。必要な分の薬は入院前(前日まで)にご用意ください。入院中に他の医療機関で薬を出してもらう事はできません <input type="checkbox"/> 下着類(2~3枚) <input type="checkbox"/> 洗濯物入れ(レジ袋・エコバッグ) ※袋の口が閉じられるもの <input type="checkbox"/> 靴(着脱しやすく、かかとを踏まないもの) ※スリッパでなく靴のご用意をお願いします <input type="checkbox"/> お茶などのペットボトル飲料 ※食事の配茶はありません。各階デイルームに自動販売機があります	<input type="checkbox"/> 時計 ※眼科の入院はご持参ください <input type="checkbox"/> 電気ひげそり <input type="checkbox"/> イヤホン ※テレビ等使用の方 <input type="checkbox"/> ヘアブラシ <input type="checkbox"/> 義歯 <input type="checkbox"/> 前開きシャツ <input type="checkbox"/> 靴ペラ <input type="checkbox"/> ボディクリーム <input type="checkbox"/> 洗剤 ※コインランドリーをご利用の場合

入院セットを利用されない方は以下の物もご用意ください	必要に応じてご用意ください
<input type="checkbox"/> バスタオル2~3枚 <input type="checkbox"/> フェイスタオル3~5枚 <input type="checkbox"/> シャンプー(リンス) <input type="checkbox"/> ボディソープ(石けん) <input type="checkbox"/> コップ(割れにくいもの) <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 口腔ケア用品(歯ブラシ・スポンジブラシ) <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー・ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> パジャマ・寝巻き2~3枚	<input type="checkbox"/> 義歯ケース・入れ歯洗浄剤 <input type="checkbox"/> マウスウォッシュ・口腔用ジェル <input type="checkbox"/> ストローコップ <input type="checkbox"/> 食事用エプロン ※食事を介助で召し上がる方や、食べこぼしのある方 <input type="checkbox"/> 紙オムツ・リハビリパンツ・尿取りパッド ※別途申し込み:紙オムツセット①・②

〈注意事項〉

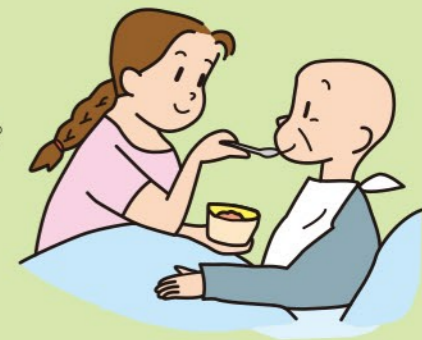
*持ち物には必ずお名前を書いてお持ちください。*日用品は売店でもお求めになれます。*盗難・破損を防止するため、貴重品はお持ちにならないようお願いします。*ハサミ・ナイフ・マッチ・ライターなどの危険物や、電気毛布などの暖房器具は持ち込まないようお願いします。

病室について

大部屋(4人部屋など)、個室・特別室(有料)があります。

個室の使用については、病状や治療内容を優先させていただきます。

患者さんの状態により部屋の移動をお願いすることがありますのでご協力ください。お部屋には、ロッカー・テレビ・冷蔵庫付きの床頭台があります。



- 特別室(バス・トイレ付) / 8,800円
 - 個室A(トイレ付) / 3,300円 ● 個室B / 2,970円
- 消費税10%を含めた額です

駐車場について

入院期間中、車の駐車はできません。入院時には他の方法でご来院ください。

やむを得ず車でおみえの方は、職員にご相談ください

※家族の付添いは、西側駐車場をご使用ください。(地図参照:冊子裏表紙)

※外来受診者以外の車に対して、駐車券の無料化はできません。

診療体制

- ①入院中の治療は主治医または病棟担当医師が行います。夜間、休日などで主治医が不在の場合は代行医師が治療を行います。
- ②入院中の診療科以外の受診については、主治医が必要とした場合に依頼いたします。
- ③当院での治療が終了し、リハビリ目的等でさらに入院が必要な場合は、他の病院と連携をとっていきます。

看護体制

- ①受持ち看護師は、患者さん・ご家族と相談しながら、看護計画を立てて看護を進めていきます。
- ②受持ち看護師不在時は、その日の担当看護師が担当します。

チーム医療と連携

当院では、主治医の治療とあわせて6つの専門チームが病状の改善をサポートしています。また、退院後自宅で介護サービスが必要な場合もチームで支援します。

- 栄養サポートチーム:最良の栄養療法を提供するために構成された医療チーム
- 呼吸ケアチーム:適切な人工呼吸器管理をサポートする医療チーム
- 認知症ケアチーム:認知症患者の認知症症状の悪化防止や早期からの退院支援等支援する医療チーム
- 緩和ケアチーム:病状に伴う様々な苦痛の緩和について支援する医療チーム
- 排尿ケアチーム:排尿に関するケアに係る専門的知識を有した医療チーム
- 褥瘡対策チーム:皮膚に関するケアに係る専門知識を有した医療チーム

お問い合わせ先 入院診療される各科外来 0265-21-1255

入院中の生活について

- **マスクの着用**をお願いします。 ※病室内で他者と会話する時 ※病室から出る時
- **病棟外へ移動**する時には、**病棟職員**にお知らせください。
- **病室へ入る時**には、廊下に設置してある、手指消毒薬で**必ず手指消毒**を行ってください。

①寝台・寝具

ベッドマットは患者さんの状態により、変更することがあります。

寝具は週1回交換します。

病衣は業者からのレンタルサービスがあります。(有料)ご自分でご用意されたい方は看護師にお伝えください。

②食事

●朝食/7:30 ●昼食/12:00 ●夕食/18:00

食事、水分は治療の一部です。医師、看護師の指示に従ってください。

安全、衛生管理のため配茶は実施しておりません。

③シャワー入浴

医師の許可が必要です。使用されるときは予約が必要ですので、看護師にお伝えください。

感染予防のため、足拭きマットはありません。入院セットを申し込まない方は、足拭きタオルをご準備ください。

④床頭台

●テレビ・電気製品の使用・冷蔵庫の使用にはテレビカードが必要です。

●テレビカード販売:各階デイルーム
カード精算:1階[7]入館受付向かい

●テレビを観る際は、他の方の迷惑にならないようにイヤホンをご使用ください。

※イヤホン:1階売店で販売しています。

●鍵付き引き出しがあります。金品、貴重品はご自身で管理をお願いします。

●万が一盗難などが発生した場合でも当院は一切責任を負いかねます。

●床頭台のコンセント以外での電気製品の使用は禁止とさせていただきます。(ひげ剃り以外)

⑤病室

カーテンは、患者さんの採光と安全確認のために、日中は開けておいてください。夜間は必要に応じて開けさせていただけます。ゴミの分別にご協力ください。処理に困る物は看護師にお伝えください。

お荷物は備え付けの棚をご利用ください。

⑥携帯電話

入院中はマナーモードでご使用ください。通話はデイルーム、エレベーターホールをお願いします。安静等により移動が制限される方は、他の方に迷惑がかからないようご配慮ください。

充電は床頭台の有料コンセントをご利用ください。

⑦避難経路

避難経路を確認してください。災害時非常時には職員の指示に従ってください。

⑧院内放送について

緊急対応のため、やむを得ず院内放送をすることがあります。ご理解をお願いいたします。

⑨外出・外泊

院外に出る場合は医師の許可と申請書が必要です。短時間でも病棟を離れる際は看護師に声をおかけください。

⑩入院中の他院への受診等について

入院中、かかりつけ医への受診を希望される場合は、病棟スタッフにご相談ください。

⑪インターネット環境について

病室では無料Wi-Fiをご利用いただけます。
利用時間/7:00~21:00

Free Wi-Fi

SSID: imh-freewifi
PASSWORD: imh@1234



一日の流れ



付添い

付添いは原則として必要ありませんが、患者さんの状態やご希望に応じてご相談させていただきます。なお、当院では付添い食の提供は行っておりません。

面会

入院患者さんへの感染リスクを極力減らすために、病棟への入館は**限られた方のみ**許可しています。

当院から連絡があった場合は**緊急連絡先**にご登録いただいた方のみ入館できます。患者さんの安全を確保し、治療や安静の妨げにならないように、ご家族の面会もご配慮ください。

尚、小学生以下は原則面会禁止、小児病棟、救急病棟は中学生以下面会禁止となります。

①面会時間

一般病棟の面会時間を制限しています。

NICU、ICUは、原則として面会できません。

面会をご希望の際は、看護師にご相談ください。

②入院時の注意事項

●面会時は必ず「マスクの着用」と「手指消毒」を行ってください。

●入館受付で入館手続きを行い、入館証を着用して入館してください。

●面会の方は西駐車場をご利用ください。

③感染症流行時の面会

新型コロナウイルスやインフルエンザウイルス、ノロウイルスなど感染症の流行状況によっては、ご家族でも面会を禁止させていただきます。

面会制限の期間は流行状況によって変わります。

④荷物の受け渡し

荷物の受け渡しは、平日の14:00~16:00

1階の[7]入館受付で受け付けます。

休日・時間外の取扱いはできません。

ご理解とご協力をお願いします。

全面禁煙

健康増進法による受動喫煙防止のため、健康回復推進の立場から、病院敷地内全面禁煙を実施しています。ご協力をお願いいたします。

※敷地内とは、病院建物内ほか、駐車場、道路を含めた病院敷地全体をいいます。

患者相談窓口

不安なく入院生活を送っていただけるよう「患者相談窓口」を設けています。お気軽にご相談ください。

●場所: 玄関正面[△]患者相談窓口

●開設時間: 平日8:30~17:15

退院時の手続き

退院の際は、お忘れ物のないようご注意ください。

退院は午前中(10時~11時)をお願いします。

午前中に退院できない場合はお申し出ください。

診断書・証明書

生命保険などの診断書・証明書等が必要な場合は、退院後に申請をお願いします。発行までに3週間いただきますので、ご承知おきください。

●申請場所: 玄関正面[□]書類受付

●診断内容について: 医療支援係(内線5830)

その他

●院内での写真撮影、録音、SNSの投稿はご遠慮ください。(カメラ機能のある携帯電話等含む)。

希望される場合は、スタッフにご相談ください。

●入院生活を快適に過ごしていただくための設備があります。書籍コーナー・郵便ポスト・理容室・レストラン・売店(コピー機)・公衆電話など。

※見取り図(11ページ)をご覧ください。

